

SPAC 俳優が電話で名作の朗読を届ける

「でんわ de 名作劇場」

「くものうえにせかい演劇祭」での好評を受け、6/6 から再スタート！

平素より、SPAC・静岡県舞台芸術センターに格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

SPACは、今月6日より、俳優がお客様に電話を差し上げて名作の朗読をする「でんわ de 名作劇場」を再開します。

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、SPACではゴールデンウィークに予定していた「ふじのくににせかい演劇祭 2020」を中止するとともに、同時期にオンラインの国際フェスティバル「くものうえにせかい演劇祭 2020」を開催。本企画は、演劇祭の1プログラムとして4月16日からゴールデンウィークまでの20日間実施し、9名の俳優が延べ130件を超える朗読を行いました。お一人でじっくり楽しむ方はもちろん、スピーカーフォンにして家族で聴いたり、ゴールデンウィークに帰省できなかった実家の母親へのプレゼントとして申し込む方など、幅広い世代・地域に届けられた手応えを感じています。また、プロの俳優による力のこもった朗読に、お客様からは「久しぶりに生き返った気がする」「これからは続けて欲しい」などの嬉しいお声を数多くいただきました。

緊急事態宣言は解除されましたが、「新しい生活様式」が提唱されるなど、影響の長期化が懸念されています。日常生活が大きく変わり、ストレスを感じている方も多いのではないのでしょうか。SPACは、今こそ演劇が培ってきた知恵を生かして人々の心に寄り添う活動をすべきと考え、「でんわ de 名作劇場」の実施を決めた次第です。

つきましては、多くの方々に本企画を知っていただきたく、ご取材、ご紹介のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

でんわ de 名作劇場

俳優からお電話を差し上げて10分～30分の朗読をいたします。

1回30分以内。朗読と合わせて30分以内でしたら、

何気ない会話をさせていただいても構いません。

実施日時：6月6日(土)～8月31日(月) [休業日6/17・7/8を除く]

①11時 ②13時 ③15時 ④17時

朗読作品：<6月> ※作品は毎月に変わります。

- ・『吾輩は猫である』(夏目漱石 作)
- ・『源氏物語』(紫式部 作／与謝野晶子 訳)
- ・『ゼロ弾きのゴーシュ』(宮沢賢治 作)

出演俳優：SPAC俳優20名／赤松直美、阿部一徳、泉陽二、大内智美、春日井一平、木内琴子、貴島豪、佐藤ゆず、鈴木陽代、鈴木真理子、関根淳子、たきいみき、館野百代、ながいさやこ、坂東芙三次、布施安寿香、本多麻紀、美加理、宮城嶋遥加、吉植荘一郎 [五十音順]

利用料金：基本無料 ※オプション「俳優におまかせ」コース【1回700円】：朗読する俳優をお決めいただけます。作品は俳優自身がセレクトしたものをお届けします。上記3作品からの指定も可。お支払い方法は予約時にお伝えします。

ご予約：SPACチケットセンター TEL.054-202-3399(10:00～18:00、休業日を除く)

※ご希望の日時、朗読作品を2日前までにチケットセンターにてご予約下さい。[予約開始：6/4(木)10:00]

※ご予約はお電話をいただいた日から2週間先までで承ります。

※受付は先着順とさせていただきます。 ※ご利用は週に1度までとさせていただきます。



「でんわ de 名作劇場」に関するお問い合わせや取材のご希望は、

「SPAC - 静岡県舞台芸術センター 広報担当 内田」までご連絡下さい。

Tel:054-203-5730 / Fax:054-203-5732 / E-mail:uchida@spac.or.jp